

ボストン茶会事件の船と博物館

ダウンタウンとシーポート地区を結ぶコンGRESS通り橋の袂に、有名な茶会事件の舞台となった木造船が停泊しており、隣接する博物館とともに街のシンボルの1つとなっています。1773年12月16日、当時イギリスの植民地であったアメリカの急進派達が、イギリス本国のお茶に対する法外な課税に反発し、茶箱 342 個を次々と海に投棄する事件が発生しました。この事件が大きなきっかけの1つとなって独立戦争にまで発展し、イギリス本国からの独立を勝ち取りました。観光客は当時を偲んで、実際に船から茶箱を海に投げ捨てる体験を楽しむことができます。



世界の地域から ボストンとその近郊（米国）



ハーバード大学

今までに多くの著名人が学んだこの大学は、イギリスによる植民地時代の1636年に設置されたアメリカ最古の大学で、ボストンに隣接するケンブリッジ市に位置しています。落ち着いた風情のキャンパス内は誰でも自由に散策することができますが、現役学生によるボランティアツアーは特に人気があり、大学創設の恩人であるジョン・ハーバードの銅像の秘密や寮生活の様子などを聴くことができるのが魅力となっています。